



南あわじ市

議会だより



▲第2次世界大戦で、戦没した約20万人の学徒を追悼する若人の広場。(阿万・大見山)
ペン先をイメージしたモニュメントから朝日が昇る瞬間を福良の鳥取から撮影。(平成20年)
施設は老朽化に伴い、再整備し公園化される。

▼阿那賀鎧崎沖で襲撃された宝塚海軍航空隊予科練生の墓地で亡くなった息子に手を合わす父親(昭和30年代、阿那賀)



写真提供：野水正朔氏(二科会写真部会員)

平和の誓い

主な内容

- 6月定例会の結果……………2～6
- 一般質問……………7～14
- 委員会レポート……………16～18
- 議会報告会の結果……………18～19



▲戦後まもなく、遺骨となって戦死者が地元に戻り、多くの人たちが出迎えた(昭和31年、賀集)

編集 南あわじ市議会広報広聴常任委員会

発行 南あわじ市議会 〒656-0472 南あわじ市市善光寺18-27

TEL.0799-43-5005 FAX.0799-43-5105 E-mail gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp

南あわじ市ホームページ <http://www.city.minamiawaji.hyogo.jp>

第47回南あわじ市議会定例会が6月7日～6月25日の会期で開かれ、市長より提出された議案19件と議会からの議案2件が、上程されました。各議案の内容と主な質疑及び採決の結果をお知らせします。



▲第47回市議会定例会の風景

- 風しん予防接種補助などの補正予算が可決
- 議員定数を20人→18人に
- 職員給与が平均4.6%減額

議会構成の変更

■ 議会運営委員会

委員の交代（6月7日）

（新）蓮池 洋美 （旧）長船 吉博

6月定例会の日程

- 6月7日 定例会第1日目（議案上程ほか）
- 〃 13日 定例会第2日目（一般質問）
- 〃 14日 定例会第3日目（ 〃 ）
- 〃 17日 定例会第4日目
（一般質問、議案追加上程）
- 〃 19日 総務常任委員会（議案審査）
- 〃 20日 文教厚生常任委員会（議案審査）
- 〃 21日 産業建設常任委員会（議案審査）
- 〃 25日 定例会第5日目（採決ほか）



▲補正予算の地域再生拠点プロジェクト支援事業に選ばれた沼島

風しん予防接種の補助金を追加

平成25年度一般会計補正予算(第2号)

■ 議案内容

一般会計に歳入歳出それぞれ1億6811万円を追加する。

助金500万円の積算根拠は、平成2年4月1日以前生まれで接種時50歳未満の男性も対象とし、すでに接種している人も含めて本年4月1日以降の接種分を対象にする。

接種費用約1万円のうち1人上限5千円、千人分を見込んでいる。500万円のうち半分を県補助金で賄っている。

■ 主な質疑

▼ 風しん予防接種の補助

問 風しん予防接種補助

妊娠を希望する女性や妊婦の同居の家族、

▼ 指定管理料の値上げ

問 指定管理施設の電気料金値上げに伴う指定管理料の増額について、施設ごとに電気代の増額割合が異なる理由は。

答 施設ごとに電気料金の契約形態が異なり、高圧受電施設では基本料金は据置きで電力量料金等に値上げがあったため、増額割合が異なっている。

▼ 沼島に観光拠点

問 地域再生拠点プロジェクト

ジェクト支援事業補助金500万円の内容は。答 沼島地区あわじ環境未来島推進協議会が主体となつて、沼島で2か所目となる観光交流拠点施設を空き家を改修して整備する。問 市内に限界集落や準限界集落が多数あるなかで、なぜ沼島だけを支援するのか。答 今回は公募型の補助金であり、熱意があるところに対して交付されるもので、他の地区でもやる気があり、一生懸命取り組んでくれるリーダーがいる地域であれば、相談等の支援をしていきたい。

▼ 淡路島地震の復旧工事費

問 災害復旧工事費1050万円の内容は。答 4月13日に発生した淡路島地震で被害を受けた公共施設の修繕

ジョイポート南淡路株が産地直売所施設

平成25年度一般会計補正予算(第3号)

■ 議案内容

国からジョイポート南淡路株に対して産地直売所施設建設にかかる補助金3195万円を追加する。

■ 主な質疑

問 市も産地直売所施設の建設を計画しているが、互いに運営がしづらくなるのではないかと。答 ジョイポート南淡路株が整備する産地直売所施設は約100坪

米で、市で予定しているのは1400〜1500平米ぐらいで規模も違う。お互い勉強しながら地域に貢献していきたい。

問 ほかに補助金を申請した団体は。答 5団体あり、総務省で査定した結果、ジョイポート南淡路株のみが認定された。

■ 議決結果

賛成多数で原案可決

議員提案

議員定数を2人削減、20人↓18人に

市議会議員定数条例の一部改正

議員定数を削減する議案が2案、議員より提出されました。

定数18人(2人減)

■議案内容

市議会議員定数を現行の20人から18人に改める。次期市議会議員選挙より適用する。

■提案理由

市内の自治会等から議員定数削減の要望書

定数20人↓16人は否決に

定数16人(4人減)

■議案内容

市議会議員定数を現行の20人から16人に改める。次期市議会議員選挙より適用する。

■提案理由

市民団体等の要請を

職員の給与を、平均4.6%削減
市職員の給与の臨時特例に関する条例制定

■議案内容

国の要請を受け、平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間、市職員の給与を平均4.6%削減する。

■主な質疑

これまで南あわじ市職員は、国家公務員との給与格差であるラスパイレス指数が低い状態であったのに、高いつきだけは正せよといふのは不合理ではないか。

■議論

反対 蛭子智彦議員

■議決結果

賛成多数で原案可決

国民健康保険の負担を一部軽減に
国民健康保険税条例の一部改正

■議案内容

国民健康保険から後期高齢者医療制度への移行により国民健康保険の単身世帯となる者に対し、5年間を経過した世帯に対する軽減を4分の1にし、3年間延長する。

■主な質疑

条例改正に伴い、被保険者の負担にどのように影響してくるのか。

■議論

賛成多数で原案可決

住宅借入控除の拡充・延長へ
市税条例の一部改正

■議案内容

地方税法等の一部改正に伴い、住宅借入金控除の適用期間を延長し、拡充する。また県内11の認定NPO等に対する寄附金を個人市民税においても寄附金控除の対象とする等の改正を行う。

■主な質疑

住宅借入控除の拡充及び延長により、一般財源への影響は、

■議論

提出していただく。

■議決結果

賛成多数で原案可決



灘黒岩水仙郷の指定管理者を指定
公の施設の指定管理者の指定

■議案内容

平成25年7月1日から平成28年3月31日まで、灘黒岩水仙郷の指定管理者として、灘・沼島ふるさと会を指定する。

■主な質疑

新しく指定管理者を選定した理由は、

これまでどおり灘黒岩の地元自治会にお願いしたかったが、自治会スタッフが高齢となり後継者もなく継続することが困難であった。灘地域の財産でもあるので、縁のある団体ということで灘・沼島ふるさと会を選定した。

■議論

指定管理は公募するのが基本ではないか。

公共的団体であれば公募しなくてもよい。公共的団体は利益

を求めてもいいのか。

施設によって差異はあるが、ほかにも利益を求めている団体もある。

灘地域の道路脇及び周辺の水仙を守る対策について市はどのように考えているか。

プロジェクトチームを作り、地域の理解を得ながら、別の場所においても球根の再生・養生に取り組みたい。

指定管理者を選定する時は公募すべきである。

地域の総意ということで選定されている。

賛成多数で原案可決



▲灘黒岩水仙郷

議員定数を削減する議案が2案、議員より提出されました。

定数18人(2人減)

■議案内容

市議会議員定数を現行の20人から18人に改める。次期市議会議員選挙より適用する。

■提案理由

市内の自治会等から議員定数削減の要望書



議員より修正案

■修正案要旨

審議会委員のうち市議会議員の定数を削減せず、総数を2人増やす。

■原案に対する討論

反対 蛭子智彦議員

■議決結果

修正案は可決。修正部分を除く原案可決。よって修正可決となった。

■修正案要旨

近隣の洲本市・淡路市を参考にした。

近隣の洲本市・淡路市を参考にした。

平成25年7月1日から平成28年3月31日まで、灘黒岩水仙郷の指定管理者として、灘・沼島ふるさと会を指定する。

新しく指定管理者を選定した理由は、

これまでどおり灘黒岩の地元自治会にお願いしたかったが、自治会スタッフが高齢となり後継者もなく継続することが困難であった。灘地域の財産でもあるので、縁のある団体ということで灘・沼島ふるさと会を選定した。

指定管理は公募するのが基本ではないか。

公共的団体であれば公募しなくてもよい。公共的団体は利益

を求めてもいいのか。

施設によって差異はあるが、ほかにも利益を求めている団体もある。

灘地域の道路脇及び周辺の水仙を守る対策について市はどのように考えているか。

プロジェクトチームを作り、地域の理解を得ながら、別の場所においても球根の再生・養生に取り組みたい。

指定管理者を選定する時は公募すべきである。

一般質問

市政を問う

6月13日・14日・17日の3日間にわたって、14人の議員が一般質問を行いました。

なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

閲覧方法

「市ホームページ」のメインメニューの「南あわじ市議会」から「録画放送」をクリック ※20ページを参照下さい。

財政計画に対する人口減少の影響は

ゆるるはクラブ 原口 育大 議員



問 沼島振興について
沼島から小中一貫の全人教育を全国に発信し、漁村留学を受け入れてはどうか。
教育部長 沼島は小学校が13名、中学校が17名。漁村留学も

問 財政計画に対する人口減少の影響は。
財務部長 交付税算定に人口は重要な数値になるが、交付税の優遇措置がなくなる平成32年度でも収支均衡のとれた財政を維持することができると計画を立てている。

問 沼島から汽船とコミバスを使って病院通いをする人がかなりいる。淡路交通路線バスとの乗り継ぎ改善のため帰路の中林病院発を10分遅くできないか。
市長公室長 様子を見て、ぜひとも改正が必要であれば再度考えたい。

問 デマンド型エリアの利用状況、利用登録者数は。
コミバスについて

公平にというのは大前提だが、メリハリをつけるのも行政の仕事だ。公平にするだけでは本来の目的は達成できない。

一つの方策かなどいう感じを持っていく。
問 沼島から汽船とコミバスを使って病院通いをする人がかなりいる。淡路交通路線バスとの乗り継ぎ改善のため帰路の中林病院発を10分遅くできないか。
市長公室長 様子を見て、ぜひとも改正が必要であれば再度考えたい。

妊婦検診への助成金をチケット制にする。
健康福祉部長 検討する。

3時間前予約とか、1日5便で5人を超えたら乗れませんよとか、どうも使い勝手が悪い。また利用ゼロでも月額50万、60万円を払う契約になっており、このままでは余りにももったいない。

4月、5月は実績ゼロ、利用登録者数は、現在23人。
市長公室長 4月、5月は実績ゼロ、利用登録者数は、現在23人。



▲吉基と地域おこし協力隊の大原さん(左)、森本さん

議決結果一覧

議長(森上祐治)は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席、※は退席)

提出者	議案名	議決結果 (議会の意思)	各議員の賛否																			
			中村三千雄	川上命	阿部計一	登里伸一	楠和廣	北村利夫	蓮池洋美	砂田果洋	柏木剛	印部久信	長船吉博	廣内孝次	小島啓一	久米啓右	谷口博文	原口育大	熊田智彦	蛭子裕	出田智裕	
市長	離島振興対策実施地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	税条例の一部改正の専決処分	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	損害賠償額の決定及び和解の専決処分(12月31日発生の消防団員公用車事故①)	承認	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	損害賠償額の決定及び和解の専決処分(12月31日発生の消防団員公用車事故②)	承認	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	損害賠償額の決定及び和解の専決処分(3月19日発生の公用車事故)	承認	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	25年度一般会計補正予算(第1号)の専決処分	承認	○	○	○	※	○	※	※	○	○	※	※	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市長	25年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	税条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	国民健康保険税条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員	都市計画審議会条例の一部改正(修正案)	修正可決	○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○
市長	”(修正部分を除く原案)		○	×	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	×
市長	兵庫県市町交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の減及び規約の変更	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	訴えの提起	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	公の施設の指定管理者の指定(灘黒岩水仙郷)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	人権擁護委員候補者の推薦(瀨本幸男氏)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	人権擁護委員候補者の推薦(前川あけみ氏)	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	25年度一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例及び南あわじ市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	×	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	×	○
市長	市職員の給与の臨時特例に関する条例制定	原案可決	○	○	×	○	○	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○
議員	市議会議員定数条例の一部改正(定数18人)	原案可決	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×
議員	市議会議員定数条例の一部改正(定数16人)	否決	×	×	×	×	○	×	×	×	×	※	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○

行財政改革について

ゆづるはクラブ 柏木 剛議員



問 行政改革に努力する自治体に交付税を重点配分するといふ国の方針が出た。南あわじ市は行革努力をどう国に主張していく方針か。

答 定員適正化の状況は。

総務部長 現在正規職員544人で適正化計画よりも16名減。

問 平成30年4月、500名の見込みは。

総務部長 前倒しされる見込み。

問 最近5年間で本庁職員の管理職37名の経済効果は大きいと分析。

答 もう一つの向う先は指定管理の方向。現状は。

市長公室長 本市の減。経験者不足、若手指導育成等の面で組織の弱体化は。

総務部長 職員が一丸となって努力している現状。

問 人員減、経験者減で向う先は業務委託、外注依存の方向。安易な業務委託は増えているか。

財務部長 委託料の総額は約20億円で横ばい。

問 業務委託のチェック機能は。

財務部長 予算査定時に厳しく査定。

問 地元経済効果は。

財務部長 地元業者受注額97%。地元への経済効果は大きい。

問 指定管理による経済効果は。

市長公室長 平成19年度から累計で指定管理せず直営でやってきた場合と比較し、約5億円余りの施設維持管理経費削減の効果。

問 今後の方向は。

市長公室長 民営化も含め、今後も取り組む。



指定管理されている温浴施設

観光振興(風評被害対策)について

日本共産党 蛭子 智彦議員



地震の影響で観光客が減っていることから強く大きな対応を求めた。

大鳴門橋に遊歩道を

問 大鳴門橋の下部を使つての遊歩道が鳴門側から設置されている。なぜ、淡路島側からはいけないのか。

副市長 利用についての議論はあつたと聞いたことがない。

問 鳴門で出来ているんだから、淡路島側からもぜひ実現して欲しいと観光業者

も常々思っている。できない方が不思議だ。

産業振興部長 十分議論をさせて欲しい。

問 早くから認識をして、対策を考へるべき。世界遺産登録の運動もするほど、観光としての活用を考へているので、もっと積極的

に動くべきである。

市長 事務レベルで一度調べてもらう。

樹幹注入で松の銘木を守るべき

問 慶野松原の松は大事な観光資源でもあると思うがどうか。

産業振興部長 そう思っている。

問 中学生が調べた

さらに海岸清掃など、慶野松原魅力アップを強く求めた。

教育部長 継続していきたい。



慶野松原の根上松

副市長2人制について

市民連合・無所属クラブ 印部 久信 議員



問 3月議会で副市長2人制の条例が議決されたが、全国で複数制を採用している市町村の数は。

総務部長 全国786市の内187市が2人制。神戸市、姫路市は3人制である。

問 市長は副市長2人制を提案されたが職員の理事制を考へたか。

市長 具体的には考へていない。

問 職員の人材育成も考え1つの手法であつたのではないか。

市長 その様な考え方もあるがその時点では考へてなかった。

問 8年前の合併当初であれば2人制も考へられるが、なぜ今なのか。

市長 大型事業が山積している中、中央への陳情等、今までの以上に留守がちになる。大型事業をスムーズに進めたい。また地元もしっかりとしないでいけないと思ひの為。

問 6月議会に同意案件をして議案提案がなかったか。

市長 何とか6月までにはと鋭意努力したが4月の地震もあり、かなり予定があつた。

問 南あわじ市にゆかりのある中央官僚を副市長にお願いしているとの発言があつたが。

市長 地元もゼロで

はなかつたけれど、積極的に乗つていたのが中央省庁でありそれが具体的にいつてきた。

問 中央官僚を招くのは両刃の剣である。地方分権。道州制が言われている今日、中央と直結する市によって、南あわじ市は省庁の天下り先、あるいは直轄地になる可能性がある。職員の士気が低下する懸念があるが。

市長 それらの事も十分踏まえて進めていく。



市役所中央庁舎

淡路島地震後の対応について

無所属クラブ 谷口 博文 議員



問 先般の淡路島地震発生時の対応は、南あわじ市防災計画に基づき、適正に執行できたか。

総務部長 中央庁舎で、災害対策本部を設置し、被害情報把握等を行った。また、現地対策本部において、部署ごとに対応した。

問 被災者支援は十分だったか。

総務部長 地震翌日ブルーシート等、必要などころに対し配布した。また、市の見舞金支給条例に基づき交付していきたい。

問 被災者支援は十分だったか。

市長 兵庫県下で、南あわじ市が一番心配の地域であり、ハード整備等予算を確保し計画を一つ一つ着実に進めていきたい。

問 南海トラフ地震特別措置法について。

財務部長 新聞等から情報提供されてからまだ間もないので、防災部門等と連携をとりながら調査研究したい。

問 昨年4月1日から施行の県総合治水条例、並び三原川河川整備計画の状況について。

都市整備部長 三原川河川整備は、約30年計画で、今現在は松島橋付近の護岸の改修が進んでいる。大日川改修については、地元同意を得ている。また現在、山王橋の協議をしている。

その他、少子化対策関連予算の充実に求めた。



淡路島地震の被害光景

新庁舎建設について

問 新庁舎の進捗状況は。

市長公室長 開発申請の事前協議に手間取ったことと、国の労務単価の改正による再積算等で3月議会より2カ月程度の遅れがでてい

問 建築工事の設計業務と監理業務の分離について、市にも専門職員がおらず、スムーズに業務が行われていない。きちんとした体制をとれるように見直しも含めて検討をお願いしたい。



▲平成27年度に開庁予定の新庁舎

問 市民に対する周知の徹底、市民交流センターの運用開始等にも影響を与える。この際、しっかりとしたスケジュールを持たなければならぬ。

市民交流センターについて

問 先行実施しているモデル地区の状況は。

市民生活部長 地域の将来図を実現していく計画にあたって、アンケートを実施し

問 広田地区において、特に遅れていると感じている。地元任せにしていたら、いつまでたっても出来ない。行政がある程度引っ張っていかないとできないのではないかと。

市長公室長 教育部と市長公室で調整をしながらやっていきたい。

道路整備について

問 西路交差点の御原橋と、西淡中学校の信号間の道路整備事業の進捗と、橋梁部における地場産瓦製品の活用について。

都市整備部長 施行期間は平成26年末から平成27年。橋梁部については、まず橋台・橋脚の工事を行う。橋げた部分については、まだこれらの予定。

問 広田大宮神社からさんでん信号間の整備事業について。

都市整備部長 待機所整備等、県に要望を取り組み中。

問 オニオン道路の進捗について。

都市整備部長 全線17kmであり進捗率が82.8%で供用率が76.2%。平成27年度の工期完成への取り組み。

問 学校統合での閉校舎活用として、吉備国際大の学生等へ住まいとして提供する事はどうか。

市長 改修費用等がどれだけかかるかどうか、専門業者にも御願ひする必要がある。



▲西淡社会教育センターと併設の資料館

問 耐震調査後の社会教育センターの整備と併設の資料館格技室の対応について。

教育部長 社教センターについては、年次計画において長寿命化耐震補強での整備を計っていく。資

問 農業立市として、学校給食に有機栽培で安全安心であり旬を感じる市内農産品食材の使用と完全米飯給食事業について。

教育部長 健康で安全安心を軸にした方向で米飯完全給食への議論をする必要性を感じている。

三原から灘へトンネルを

問 市長が5年前に答弁、沼島・灘の多くの問題点が解決するのは間違いない。限界集落が増える今、トンネルが必要では

市長 将来展望では良いが今の段階では無理。

人形座に営業専属職員を

問 人形座の職員は非常によくやっている。自分達で工夫している。技芸員は芸道に専念させ、第2、第3の人間国宝を作るために営業専属職員を2名置いては。

市長 現在1人専門



職と黒田先生がその立場で変革出来た。食の拠点「産直場」は大丈夫か

問 食の拠点事業は市長自ら希望したのか。

市長 将来展望どうあるべきで、どう成功させるかで、南あわじ市の農業の方向性が決まる。

問 明石、鳴門大橋の橋代が高いのでリピーター客となるの

が地元の人たちで、地元の商業者に影響を与える。農業振興部長 新しい農業分野を設立し農業所得向上に向けて地域の活性化に繋がる。



▲市内各所で開かれている朝市

災害時の状況把握の徹底を

問 今回の地震を教訓として、被害状況の把握の方法をどのように考えているか。

総務部長 行政から文書を出さなくても、自治会、自主防災組織、消防、民生委員の皆様から被害状況の報告をいただける方法について、マニュアル化を図る必要を感じた。

問 家屋被害認定士養成研修への市職員派遣状況は。

総務部長 現在9名の資格保持者がいるが、今後増やしていく方針である。

高齢者が安心して暮らせる、見守り制度の確立を求める

問 24時間体制の安心できる見守り制度が必要ではないか。

健康福祉部長 必要性は認めるが、介護施設における人員の確保、利用者の需要等、課題が多い。現状では、市が推進していく状況ではないかと考える。

問 今後、深夜でも訪問等をしてくれる小規模多機能施設の



増加が必要ではないか。

健康福祉部長 第6期以降の福祉計画では、検討していく必要がある。

通学路の安全対策を急げ

問 25年度における対策済みの箇所は。教育部長 志知奥の横断歩道の新設が決定した。残り25カ所のうち、10カ所については、注意喚起の応急対策を完了している。

政真クラブ 川上 命 議員

幼保一元化を含めた 幼児教育について

湯の川荘のバス停について

湯の川荘のバス停の件であるが、伊加利地区会長、私と、健康福祉部長、担当課長との話し合いで解決をしたが、伊加利地区は福祉に大変協力をしている。湯の川荘、コミュニティセンターの歴史についてご理解をして頂きたい。

幼児教育について 幼稚園と保育園の問題点についてどのように考えているのか。

幼保一元化を含めた幼児教育について

健康福祉部長 この地域を福祉の里というような事で位置付けて、福祉関係の整備がされた記憶し

健康福祉部長 平成27年に統合するのが決まっているが、しかし新築か跡地利用か、また場所、その内容も決まっていない。これは保護者の皆さんは不安で教育に対する信頼がない。対話を大切にして欲しい。

教育長 大きくは余り内容的に差がないのかなと思う。



教育長 教育委員会としても議論というところまで至っていない。あくまでも委員会の合議という中での決定となって初めて皆さん方にオープンに出来る。

また、観光地の公衆便所の整備について質問をした。



▲伊加利幼稚園

ゆづるはクラブ 出田 裕重 議員

子宮頸がんワクチンを 中止せよ

危機管理専門部署の設置を

総務部長 庁舎建設完了後に設置する必要があると考えている。

庁舎新築に合わせる必要は全くない。自主防災組織の形骸化も深刻、このままでは市民の命を救えない。役所組織、自主防災組織の体制を抜本的に見直すべき。

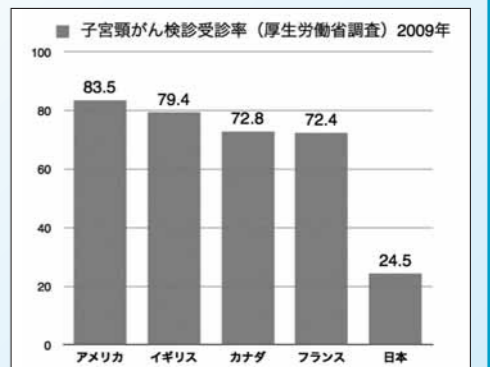
総務部長 「自主」とは言いつつも行政が必要なバックアップをやっていく必要がある。防災組織の

中止せよ 全国の子宮頸がんでの死者は19歳以下がゼロ、24歳以下でも数名、副作用がクロースアップされ、政府は「積極的勧奨の差し控え」に方針を転換した。なぜこんな予防接種が必要なのか。市内で副作用報告はあるか。

健康福祉部長 小学生の6年生から高校1年生の女子の8割が接種済。副作用報告は受けていない。



健康福祉部長 市内の個別受診の環境づくりも考えていきたい。市長 各関係機関と調査、連絡をとって決めていくべき問題だ。



市民連合・無所属クラブ 登里 伸一 議員

丸山地区の諸課題について

県の第2種漁港の丸山漁港を中心に、水産業が活発なままだ。食の宝庫にしたい。振興策を問う。産業振興部長 アオリイカ産卵床の設置、オコゼ・タイ等の稚魚の放流、タコ壺等への補助、海底耕運・海面環境保全事業を継続実施している。



▲丸山地区遠景

産業振興部長 キロリットル当り1万2000円以上の値上り。しかも依然として、魚価が安い。地道に振興策を継続したい。

森の栄養が海の生き物を育てている。背後の山は別荘・定住地にと早くから開発、大規模な風力発電所も出来た。台風で土石流が発生し、磯焼けが加速している。色落ちでノリの養殖は数年前から停止した。風力発電所の固定資産税を漁場支援に役立てられないか。

産業振興部長 よい方向を見出せないか協議したい。

旅館・民宿の多い観光産業は、海の幸と素晴らしいロケーションの宝だ。大型



市民生活部長 高齢社会を考え、ゴミ集積箱設置を提案したい。

政真クラブ 廣内 孝次 議員

新庁舎建設について

円安の影響による原油の高騰や、原発停止の影響による電気料金の上昇等、資材が上昇している。工事費の上昇の検討は。

市長公室長 国土交通省の対応により、アップが必要か判断をする。

市長公室長 外構の一部は分割発注するが他は難しい。

若人の広場整備工事の公募が少なかつたが新庁舎建設の対応は。

市長公室長 地元の人、大変不平等だが。

市長公室長 地区割と人口割でその単価になる。理解を望む。貴重な税金を使



地域づくり活動交付金、使用目的制限は。市長公室長 地域づくりのための事業費、活動の材料費等であり、精査する。



▲本年度よりモデル事業として市内5カ所で開設された市民交流センター

交付金は繰り越しが可能か。

市長公室長 年度で行い、繰り越しは具合が悪い。

交付金の配分はM地区、223円/人、I地区、869円/人、大変不平等だが。

市長公室長 地区割と人口割でその単価になる。理解を望む。貴重な税金を使

淡路瓦屋根工事奨励金制度について

住宅が条件だが、付随する建物や店舗等に適用は出来ないか。

産業振興部長 検討する。

地方自治の発展に貢献 3氏に表彰

永年地方自治の発展と振興に貢献された方々が表彰されました。

兵庫県功労者表彰

自治功労賞

川上 命 議員

全国市議会議長会表彰

在職15年以上表彰

阿部計一 議員

在職15年以上表彰

北村利夫 議員



無所属クラブ 砂田 杲洋 議員

自然エネルギーについて

太陽光パネルを 設置する場合、国、 県、市の補助はどれ ぐらいあるか。

市長公室長 今年度、市の補助が1キロワッ ト2万円、4キロワッ ト上限で8万円。国 は上限2万円。県は 今年度、補助金はな い。

この前、県知事 が、淡路島の屋根と いう屋根に全部ソー ラーを貼って、近い 将来、淡路島の電力 は全部自然エネルギー の電力で賄うという ような発言があった。 知事の発言の意味、 県の施策に対して、



方向性は。 市長公室長 恐らく環 境未来島構 想の特区に 認定された ことによっ て、淡路島 をエネル ギーの島に するという ことで、当 初はそうし た知事の発 言もあつたかと思う。 今、民間の業者が メガワット級のもの を設置したり、県と 3市で県民債を活用 したメガソーラーの 設置などを予定して いる。

市役所5庁舎な り、学校、体育館等、 公共施設の屋根を民 間に開放して、財源 収入を得るというよ うな計画はないか。



▲太陽光パネル

「政務活動費」24年度分 実績報告

政務活動費は、議員の審議能力及び政策立案能力の強化を図るため、調査研究に必要な費用の一部を会派に対し交付するものです。

交付金額は、1人あたり年間15万円(月額12,500円×12カ月)として、会派に交付しています。

24年度の実績一覧表は下記のとおりです。詳細は市ホームページ、または閲覧用書類(議会議務局に設置)をご覧ください。

Table with columns: 会派名(人数), 交付額, 執行額 (研究・研修費, 調査旅費, 広報費, 広聴費, 資料作成費, 資料購入費, 事務費, その他の経費), 計, 返納額. Total delivery amount: 2,775,000. Total returned amount: 735,766.

注) 交付申請のない会派には交付していません。使われなかった残金は市に返納されます。交付額を超えた分は支給していません。

議会活動日誌

Calendar of council activities from April to June, listing dates and events such as committee meetings, public hearings, and council sessions.

市民交流センターを 管外視察

総務常任委員会

■4月18日～19日の
管外調査

▼4月18日
岩手県北上市

当市は従来の公民館を地域の活動拠点としての交流センターに移行し、各種の地域活性化の事業に取り組んでいる。

・交流センターを指定管理施設とし、地域に管理運営を委託。
・センター長(非常勤)、事務長(常勤)以下全員を地域で雇用。
・指定管理料1500万円/年、地域づくり交付金180万円/年で自主運営、事業実施。



▲岩手県北上市の市民交流センターを視察

・窓口サービス機能は行ってない。
▼4月19日
岩手県一関市

当市は「地域おこし協力隊」制度及び「緑のふるさと協力隊」制度を活用し、多様な地域おこし、活性化事業に取り組んでいる。「緑のふるさと

協力隊」1名。「地域おこし協力隊」2名、更に1名募集中。
・農村地域活性化事業は協力隊の支援のもと、現在11地区で実施。
各事業に対し4年間にわたり合計120万円の補助金。
農産物生産、加工、販売等で自ら収益を上げることが事業採択の必須要件。

・農村定住・就農支援員を配置し、窓口対応の他、空き家2000戸の情報収集を行う等の移住促進を実施。
■5月14日の
所管事務調査

▼らん・らんバス
ダイヤ改正後の利用者数は、

昨年4月6000人に比べ約1割減。

各委員会では、議会閉会中も調査活動等を行っています。
4月～6月の議会閉会中に行われた委員会の調査概要を報告します。詳細は、市ホームページに委員会録を掲載していますので、ご利用ください。

レポート

安心な医療の構築に向けて管外視察

文教厚生常任委員会

■4月22日～23日の
管外調査

▼4月22日 三重県
三重医療安心ネット

ワークについては、調査を行った。
三重医療安心ネットワークとは：複数の医療機関にまたがる診療

▼新庁舎建設
26年12月完成の見込み、及び労務費単価、

入学奨励金の申請者は51名。

不便になったという市民の声、掌握しているか。
答 聞いている。整理し、解決できるものは解決していく。

資材費等の面で事業費の見直しは。
答 工事期間、開庁時期及び事業費について最終の詰め、6月議会で示したい。

▼デマンドバス
利用者は、

▼市民交流センター
モデル地区での証明書発行件数は、

4月は無しであった。
答 予約3時間前、バス停からバス停間の移動範囲の制約とか、利用しにくい問題点は、

昨日現在、5箇所100件の発行。

地元に入り意見を聞き、改善策を考えていく。

入学者数は、
56名のうち女性7名、島内3名のうち市内2名。

食の拠点施設の 計画は？

産業建設常任委員会

■4月25日、5月23日の
所管事務調査

▼下水道の加入促進

問 下水道に接続している戸数は、

答 7900軒余り。
問 下水道早期接続者

奨励金の現在までの交付件数は。
答 この制度は、平成19年8月1日に施行しており、平成19年度から24年度まで合計1473件交付している。
問 その内訳は、

答 供用開始から1年以内に接続された方、
この方には3万2400円交付される。その件数が1059件。2年以内は1万5120円で、396件の制度は平成24年度から施行し



▲所管事務調査

ているが、7560円の交付で18件である。
▼食の拠点施設計画
問 総事業費13億円のうち、市の負担額は、

答 市の負担は約4億円、残りは国の交付金4～5億円(申請中)と、新たに組織する生産者団体からの出資金4億～5億円で、この出資金のうち2分の1弱は、農業ファンドか

そこが知りたい

委員会調査

らお金を借りることを想定している。
問 今度は、運営会社も作らないといけないと思うが、出資者としてイコールになるのか。

答 イコールである。
問 出資するメリットはあるのか。

答 配当の仕方などを、新しい会社で協議していくと思う。

記録を、時系列で共有する為の医療連携システム。
〈主な調査事項〉

- ・概要と必要性。
- ・個人情報保護の観点から開示要求者の確認の方法。
- ・医療費の削減効果と患者の費用負担及び診療時間の軽減効果。
- ・医師会の対応。
- ・今後の課題。

▼4月23日
愛知県東浦町

学校給食における食物アレルギー対応について、調査を行った。

〈主な調査事項〉

- ・アレルギー食材対応学校給食にかかるとの経緯と概要。
- ・対応の範囲。
- ・混入防止。
- ・情報の共有化の方法。
- ・アレルギーショック等の緊急時の対応。
- ・アレルギー食材対



▲愛知県東浦町の視察風景

淡路島地震の対策について

地震・津波対策特別委員会

■4月30日の
所管事務調査

▼淡路島地震

問 淡路島地震の被害状況は。
答 4月26日現在、人的被害は負傷者3名、うち1名は重症で、現在入院中。建物被害は180棟、うち住家が105棟、非住家75棟。県の災害援護金、一部損壊の損害割合10%以上は5万円が交付。フェニックス共済、一部損壊に見舞金が出る。本市でも一部損壊の世帯に1世帯50000円の交付を検討中。

▼津波対策

問 被害調査の数字がかなり動いている。確定するのに、もう少し時間を要するのか。
答 職員等で、班を組んで回っているが、数多く完全な確定に至っていない。

▼津波対策

問 島内他市に比べると対応が遅いのでは。
答 初動の段階で、若干体制が少なかったかもしれない。他市の状況を参考にし、各課への協力をお願いする等して取り組む。



▲5月7日～8日に和歌山県海南市へ管外調査。浮上式津波防波堤を見学。

問 島内他市に比べると対応が遅いのでは。
答 初動の段階で、若干体制が少なかったかもしれない。他市の状況を参考にし、各課への協力をお願いする等して取り組む。

で防波堤が検討中。阿万港は、本庄川水門の整備、既存の防潮堤のかさ上げ。沼島では防潮堤の整備、陸間の自動化、防波堤等の対策が重点項目。
問 本市の西浦海岸について挙がってきていないが、市が責任を持つてやるのか。
答 西浦海岸においてもインフラ整備は大事であり、対策をとっていくべきである。

市民の皆さんの声を市政に

5月に議会報告会を実施

議会基本条例に基づき、5月10日(緑)、17日(西淡)において、議会報告会を実施しました。紙面の都合上各会場で出た内容を要約して掲載しています。詳しくは、ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

意見交換会 市民の意見 議会の答弁

▼淡路人形浄瑠璃館

問 淡路人形浄瑠璃館の外壁に錆が出て汚い。将来錆やセメントが落ちてくる可能性があり危険である。設計ミスではないか。
答 錆を出すのを前提に設計されている。

▼防波堤

問 淡路人形浄瑠璃館のイス、外観、階段、駐車場の設備は不十分。
答 たびたび指摘してある。外観上も問題多い。手摺等は手直しを予定している。けが人が出ないように監視していく。議員は執行権がないので苦しい。

参加者数	
緑	20人
西淡	26人
合計	46人

▼淡路人形浄瑠璃館

問 入場者少ないのは問題。座が自主的に努力するよう指摘している。
答 人形座、人形浄瑠璃への熱いご支援をさらにお願したい。

▼防波堤

問 西淡庁舎跡利用はどうなっているか。湊地区の低地対策がほとんどできていない。堤防決壊が不安だ。
答 現時点で西淡庁舎跡地利用計画ができていない。議会も課題ととらえている。湊地区も松帆のように住民組織を作って低地対策の住民運動をがんばってほしい。



▲議会報告会(緑市民センター)

問 湊地区の消防屯所の改築を急いでほしい。庁舎跡にできないか。
答 協議する。

▼食の拠点
問 食の拠点について、議会に情報が入る前に新聞報道はおかしいの

では。民業圧迫の心配は。
答 市民参加で今後議論を。

問 食の拠点として大鳴門橋記念館をもっと利用すべき。
答 場所はワーキング

チームが決めた。主体となるべき人たちに任せている。

▼議会・議員
問 議員は報酬に見合う発言や行動をしているか。
答 発言するだけが議員の仕事ではない。地道な地域要求を取り上げそれぞれの議員はよく頑張っている。報酬は、まだ安いという意見もある。

問 議会基本条例で委員会の制限公開制はおかしいのでは。制限が強調されている。
答 公開が原則ととらえている。誤解を招くようであれば精査して改善したい。

問 定数削減要望について、老人会でも区長会でも話し合われていない。勝手にされて困っている。
答 貴重な情報提供に感謝。今後慎重に検討する。

問 貴重な情報提供に感謝。今後慎重に検討する。

▼その他
問 三原川沿いサンパール側花壇(県有地)、川底の草刈を地元が補助金をもらって行っているが現在はそうになっていない。昔のように出来ないか。
答 要望してみる。

問 財産区へ一般会計からの補助金は出ていないか。
答 出していない。

問 広田の市営住宅の改築の予定は。
答 市場・西宮川団地の建替えて市場団地跡地へ3〜4階建てを予定している。

問 ほ場整備区域内の市有地に建つ電柱の借地料が市に入っていると思うが地元で還元できないか。
答 調査する。

問 慶野松原の施設改善を。
答 トイレは予算が付いて改善の見通し。慶野松原に力を入れよ



▲議会報告会(西淡庁舎)

言うご意見はもったもなご意見。
問 津井に公民館が是非必要。
答 建設の感触を得ている。(津井グラウンド

周辺)
問 少子対策は効果が出ていると思うがどうか。
答 効果が出ていると認識している。

第48回南あわじ市議会定例会日程（9月）

◆開会：午前10時～

会議日	会議内容（予定）
第1日 8月29日(木)	1.各常任委員会調査報告 2.平成24年度南あわじ市一般会計、特別会計等決算認定（説明、質疑、委員会付託） 3.条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 4.平成25年度南あわじ市一般会計補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 5.その他の案件上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日 9月3日(火)	1.一般質問
第3日 9月4日(水)	1.一般質問
第4日 9月5日(木)	1.一般質問 2.追加議案上程（説明、質疑、委員会付託）
予備日 9月6日(金)	
第5日 9月20日(金)	1.特別委員会・議運委員会調査報告 2.追加議案上程（説明、質疑、討論、表決） 3.付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）



◆開会：午前10時～

	会議内容	会議日
委員会	総務常任委員会	9月13日(金)
	文教厚生常任委員会	9月18日(水)
	産業建設常任委員会	9月17日(火)

※24年度決算は、決算審査特別委員会を設置し、審査を行います。審査の日程は、決算審査特別委員会設置後、9月9日(月)・10日(火)・11日(水)・12日(木)で調整を行う予定です。

ご自宅で傍聴いただけます

ご利用ください「インターネット中継」

本会議や委員会（一部を除く）をインターネットで生放送しています。

閲覧方法

1 南あわじ市ホームページを開く

南あわじ市

2 南あわじ市ホームページから「南あわじ市議会」をクリック



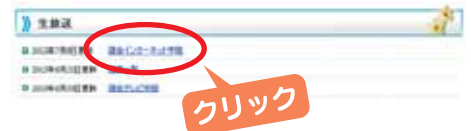
クリック

3 「生放送」をクリック



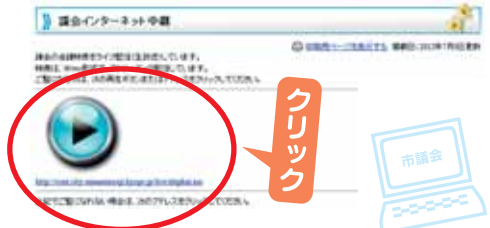
クリック

4 「議会インターネット中継」をクリック



クリック

5 再生ボタンをクリック



クリック



議会だよりの表紙の写真は、南あわじ市在住の野水正朔まさあきさんが、20歳のころから約60年間撮り続けている作品の中から提供していただいています。

「終戦後に時代がどんどん変わっていく頃、失われていくもの特に人物を写真に残したかった」と伺ったことがあります。

今回は、恒久平和を願う施設として再整備される「若人の広場」と「戦死者の遺骨が帰ってきたときの情景」を掲載しました。

終戦記念日を前に、平和の大切さについて考えたいと思います。

野水さんの作品は、市のHP「懐かしの写真館」でも見ることができます。

（原口）

編集後記



環境に配慮した再生紙と植物油インキで印刷しております。

南あわじ市議会だよりの



第38号. 2013年7月31日発行